

神田・日本橋 薬でつながる

START!
① 神田明神

1616(元和2)年に江戸城の表鬼門守護の場所に徳川幕府によって社殿造営。江戸総鎮守



② 講武所花街

幕末に設置された幕府の武芸訓練機関の近く神田明神の男坂下にあった花街



③ 湯島聖堂

1690(元禄3)年に儒学の振興を図るため徳川五代將軍綱吉によって作られた塾。1797(寛政9)年幕府直轄学校、昌平坂学問所(通称『昌平校』)に



④ 伊勢丹発祥の地

1886(明治19)年11月、初代小菅丹治が神田旅籠町に呉服太物商・伊勢屋丹治呉服店を開業。1933(昭和8)年9月新宿に移転



⑤ 筋違御門跡

歴代將軍が上野寛永寺や日光東照宮へ参詣する御成道にあり、奥州街道へと続き、左は中山道と交通の要衝にあった門。1873(明治6)年撤去



⑥ 万世橋駅跡

1912(明治45)年に中央線の神田~御茶ノ水間に開業。1923(大正12)年関東大震災で駅舎焼失。1943(昭和18)年11月休止。大繁華街だった



⑦ 神田 ちよん子

古き良き日本を再現する神田の小物屋



⑨ 神田青果市場発祥之地

1657(明暦3)年の明暦の大火後、幕府御用市場となり、1928(昭和3)年、秋葉原に移転するまで神田青物市場として約270年栄えた。気風のいい神田っ子気質は市場の活気が育んだ



⑩ 多町二丁目看板

1606(慶長11)年に起立した神田で3番目に古い江戸古町。田んぼのあった低湿地帯であったため町田と呼ばれたが、のちに多町となった。1966(昭和41)年に多町1丁目か内神田3丁目に編入。多町は2丁目のみとなった。浅田飴創業の地でもある

⑪ 早川書房クリスティ

1945(昭和20)年創業。演劇、ミステリ、SF書籍で知られる出版社。アガサ・クリスティ賞など文学賞も運営。1階にあるカフェの名もクリスティ。今年のノーベル賞受賞者の著書の多くが同社刊で話題に



⑫ 神田三原堂

神田駅が開業して3年後の1922(大正11)年創業。当地にて創業の和菓子屋。職人の手作りで保存料、添加物等出来る限り使用せず、昔ながらの東京の味を守り続けている



⑬ 山梨中央銀行

山梨銀行東京支店。建物は1929(昭和4)年以前、現在のビルが建つ前の土蔵造り。原建物も千代田区景観まちづくり重要物件



⑭ 今川橋跡

龍閑川にかかった中央通りの橋。江戸時代、周辺には瀬戸物店が集まっていた



⑯ 時の鐘

明治初期まで時を告げていた鐘



⑬ 浅田飴
本社ビル

1887(明治20)年、御菓(おんくすり)さらし水飴として創製発売。1895(明治30)年、現在の地に移転。当初は、住居、製菓工場、倉庫を備えた土蔵造りの店舗だった



⑭ 清水絵双紙店跡

1832(天保3)年創業の地本問屋。歌川広重、3代歌川広重、楊斎延一らの錦絵を出版



⑮ 謄写版発祥の地

1894(明治27)年1月、堀井親子が謄写版(鉄筆製版)を発明。7月、現在の地に堀井謄写堂創業。2002年9月倒産。今もガリ版ファン多し



⑯ 松屋跡

1889(明治22)年、横浜の鶴屋呉服店が今川橋松屋呉服店を買収・継承し、神田鍛冶町に進出。1926(昭和元)年、本店を銀座3丁目に変更



⑰ 丸石ビルディング

1931(昭和6)年竣工のオフィスビル。施主の太洋商会は、関東大震災の経験から、耐震ビルを山下壽郎に発注。龍閑川畔に建ち、川側の獅子像は川に水を注ぎ込んでいた

⑱ 長崎屋跡

幕府御用達の薬種問屋。長崎経由の薬用人参を独占的に販売。オランダ商館長の江戸宿泊所でもあった



GOAL!
⑳ 薬祖神社

東京上野の五條天神社から薬祖神御霊を迎え、1929(昭和4)年に造営。2016(平成28)年に同地に遷座



- A かんだやぶそば B ショパン C 竹むら D いせ源
- E 神田連雀亭 F ぼたん G 神田 まつや

道が八方から集まり、運河の船着き場もあったことから、八つ小路と呼ばれた江戸時代の交通の要衝。明治以降は、品川線、上野線、三田線、新宿線、深川線、青山線、江戸川線の市電各線が交差するターミナルとして賑わった。中央線(甲武電車)の万世橋駅が須田町交差点に面して建ってからは更に繁華に